2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月10日

上 場 会 社 名　　エステールホールディングス株式会社　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　7872　　URL　https://www.estelle.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　丸山　雅史
問合せ先責任者　（役職名）　取締役　　（氏名）　横内　達治　　TEL　03-6628-8480
半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	16,613	10.6	131	―	149	―	8	―
2026年３月期中間期	15,024	0.6	△338	―	△416	―	△656	―

（注）包括利益　2027年３月期中間期　49百万円（　―%）　2026年３月期中間期　△800百万円（　―%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	0.85	―
2026年３月期中間期	△62.62	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	29,687	12,049	38.3	1,086.18
2026年３月期	30,087	12,285	38.7	1,112.36

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　11,380百万円　　2026年３月期　11,654百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	27.00	27.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	27.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,250	1.1	950	38.3	900	29.0	430	830.3	41.04

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　ー社（社名）　ー　　、除外　　１社（社名）　谷口ジュエル株式会社

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料10ページ「２．中間連結財務諸表及び主な注記（４）中間連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	11,459,223株	2026年３月期	11,459,223株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	981,653株	2026年３月期	981,653株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	10,477,570株	2026年３月期中間期	10,477,570株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当中間決算期に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 11

１．当中間決算期に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられ、緩やかな回復基調で推移してまいりました。一方、個人消費は、持ち直しの動きがみられるものの、依然として続く物価の上昇、また、米国の今後の政策動向による影響や中国における景気の下振れリスク、さらには中東情勢の緊張長期化など、先行き不透明な状況が続いております。

小売業界におきましても、エネルギー価格や物流コストの高騰、相次ぐ値上げによる物価上昇や実質賃金の減少による節約志向が依然として継続するとともに、人手不足や最低賃金の上昇等により人件費が高騰し、厳しい経営環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、店頭販売のさらなる拡充の為、購買回復に向けた販売促進策を積極的に展開してまいりました。また、業務の効率化、平準化に取組むとともにお客様のニーズに対して、きめ細やかな対応をするため、品質・価格・品ぞろえを中心に店舗政策に取り組み、人材育成を強化することによりお客様満足度向上に努めてまいりました。

当社グループの当中間連結会計期間の業績は、売上高が、166億13百万円（前年同期比10.6%増）となりました。営業損益は、１億31百万円の利益（前年同期は３億38百万円の損失）となり、経常損益は、海外子会社における為替差損などにより１億49百万円の利益（前年同期は４億16百万円の損失）となりました。親会社株主に帰属する中間純損益は、８百万円の利益（前年同期は６億56百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①　宝飾品

当セグメントでは、お客さまとのコミュニケーションを強めていく取り組みや、人材育成の強化を進めてまいりました。しかしながら、一部の地域で依然として採用が厳しく、人員体制が厳しいなか、営業体制の再構築の効果が徐々に見え始めたことにより、外部顧客への売上高は、132億68百万円(前年同期比8.0%増)となり、セグメント損益は、1億60百万円(前年同期は３億14百万円の損失)となりました。

②　眼鏡

当セグメントでは、国内小売事業では、店頭での打ち出し等の見直しや人材育成の強化を進めてまいりました。また、海外子会社の卸売事業が伸びたことにより、売上高は、23億90百万円(前年同期比39.8%増)となり、セグメント損益は海外子会社での新工場の稼働に伴うコスト増もあり、86百万円の利益(前年同期比25.1%減)となりました。

③　食品販売・飲食店

当セグメントでは、よりオリジナリティのある商品開発や人材育成に取り組むなど、マーケットの変化に対応すべく施策を進めてまいりました。外部顧客への売上高は、前年度の退店数が６店舗あったことなどもあり９億54百万円(前年同期比7.1%減)となり、セグメント損益は、１億17百万円の損失(前年同期は１億40百万円の損失)となりました。

当中間期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店
会社名	As-meエステール㈱	キンバレー㈱	エステールホールディングス㈱
前期末店舗数	316	70	27
新規出店	0	0	1
閉店	△10	0	△5
当中間期末店舗数	306	70	23

（２）財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の300億87百万円より４億円減少し、296億87百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加２億32百万円と有形固定資産の増加１億８百万円と、受取手形及び売掛金の減少４億47百万円と棚卸資産の減少２億94百万円などであります。

負債合計は、前連結会計年度末の178億２百万円より１億64百万円減少し、176億37百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加２億45百万円と、支払手形及び買掛金の減少２億96百万円と電子記録債務の減少１億６百万円などであります。

純資産合計は、前連結会計年度末の122億85百万円より２億35百万円減少し、120億49百万円となりました。主な増減は、剰余金の配当２億82百万円及び親会社株主に帰属する中間純利益８百万円などによる利益剰余金の減少２億75百万円などであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間末の現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の51億11百万円より２億32百万円増加し、53億44百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは４億62百万円のプラス（前年同期は２億34百万円のプラス）となりました。これは主に売上債権の減少４億60百万円、棚卸資産の減少２億94百万円、減価償却費１億95百万円及びその他１億41百万円の資金増加と、仕入債務の減少４億32百万円、未払又は未収消費税等の減少１億71百万円及び法人税等の支払または還付１億35百万円の資金減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは１億80百万円のマイナス（前年同期は８億４百万円のマイナス）となりました。これは主に固定資産の取得１億80百万円の資金減少と、敷金及び保証金の回収による１億37百万円の資金増加によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動におけるキャッシュ・フローは42百万円のマイナス（前年同期は１億51百万円のプラス）となりました。これは主に長期借入金の増加２億40百万円（純額）の収入と、配当金の支払２億82百万円によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の業績予想につきましては、現時点において2026年５月15日に公表致しました業績予想の変更はございません。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,111	5,344
受取手形及び売掛金	2,544	2,096
商品及び製品	9,710	9,181
仕掛品	1,701	1,952
原材料及び貯蔵品	4,270	4,254
その他	339	381
流動資産合計	23,678	23,210
固定資産		
有形固定資産	1,975	2,084
無形固定資産	113	112
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,079	2,021
その他	2,242	2,260
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,320	4,280
固定資産合計	6,409	6,476
資産合計	30,087	29,687
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,857	1,560
電子記録債務	2,270	2,164
１年内返済予定の長期借入金	3,546	3,540
未払法人税等	137	86
賞与引当金	435	448
その他	2,501	2,532
流動負債合計	10,748	10,333
固定負債		
長期借入金	5,424	5,670
役員退職慰労引当金	262	272
退職給付に係る負債	1,141	1,094
資産除去債務	224	225
その他	1	41
固定負債合計	7,054	7,304
負債合計	17,802	17,637

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,388	3,388
利益剰余金	7,052	6,776
自己株式	△662	△662
株主資本合計	11,350	11,074
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	96	57
為替換算調整勘定	160	215
退職給付に係る調整累計額	48	32
その他の包括利益累計額合計	304	306
非支配株主持分	630	669
純資産合計	12,285	12,049
負債純資産合計	30,087	29,687

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	15,024	16,613
売上原価	6,701	7,872
売上総利益	8,323	8,740
販売費及び一般管理費	8,661	8,609
営業利益又は営業損失（△）	△338	131
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	2	4
受取手数料	13	8
為替差益	－	60
その他	5	11
営業外収益合計	24	86
営業外費用		
支払利息	40	61
為替差損	58	－
貸倒引当金繰入額	0	－
その他	2	7
営業外費用合計	102	69
経常利益又は経常損失（△）	△416	149
特別損失		
減損損失	102	52
店舗閉鎖損失	1	1
特別損失合計	104	53
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△520	95
法人税等	117	69
中間純利益又は中間純損失（△）	△638	25
非支配株主に帰属する中間純利益	17	16
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	△656	8

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	△638	25
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45	△38
為替換算調整勘定	△196	77
退職給付に係る調整額	△10	△15
その他の包括利益合計	△161	23
中間包括利益	△800	49
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△810	10
非支配株主に係る中間包括利益	10	39

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	△520	95
減価償却費	164	195
減損損失	102	52
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	－
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△45	△69
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8	10
賞与引当金の増減額（△は減少）	19	13
受取利息及び受取配当金	△5	△7
支払利息	40	61
売上債権の増減額（△は増加）	302	460
棚卸資産の増減額（△は増加）	303	294
仕入債務の増減額（△は減少）	72	△432
未払金の増減額（△は減少）	△33	10
未払又は未収消費税等の増減額	△122	△171
その他	55	141
小計	342	654
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△40	△64
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△73	△135
営業活動によるキャッシュ・フロー	234	462
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	17	－
固定資産の取得による支出	△757	△180
敷金及び保証金の差入による支出	△8	△30
敷金及び保証金の回収による収入	60	137
貸付けによる支出	△12	－
貸付金の回収による収入	－	7
その他	△104	△114
投資活動によるキャッシュ・フロー	△804	△180

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,300	2,250
長期借入金の返済による支出	△2,072	△2,009
配当金の支払額	△282	△282
非支配株主からの払込みによる収入	206	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	151	△42
現金及び現金同等物に係る換算差額	△44	7
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△463	245
現金及び現金同等物の期首残高	5,092	5,111
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	－	△13
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,629	5,344

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前前中間純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年５月27日取締役会	普通株式	282	27円00銭	2025年３月31日	2025年６月13日	利益剰余金

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(百万円)	１株当たり配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
2026年５月26日取締役会	普通株式	282	27円00銭	2026年３月31日	2026年６月12日	利益剰余金

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	中間連結財務諸表計上額（注）２
	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	12,287	1,709	1,027	15,024	－	15,024
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	12,287	1,709	1,027	15,024	－	15,024
セグメント利益又は損失(△)	△314	115	△140	△339	1	△338

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額　１百万円は、セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結財務諸表の営業損失(△)と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「宝飾品」及び「食品販売・飲食店」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識し、それぞれ、94百万円、８百万円を特別損失に計上しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額（注）１	中間連結財務諸表計上額（注）２
	宝飾品	眼鏡	食品販売・飲食店			
売上高						
外部顧客への売上高	13,268	2,390	954	16,613	－	16,613
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	13,268	2,390	954	16,613	－	16,613
セグメント利益又は損失(△)	160	86	△117	129	1	131

（注）１．セグメント利益又は損失(△)の調整額　１百万円は、セグメント間取引消去であります。
２．セグメント利益又は損失(△)は、中間連結財務諸表の営業利益と調整を行っています。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「宝飾品」及び「食品販売・飲食店」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識し、それぞれ、21百万円、30百万円を特別損失に計上しております。